

消防署員にインタビュー

火事・ドヤ・労働者の関係について

その口を配

特集・千成火事 その三

先月下旬、千成ホテル火事の取材のため西成消防署を訪ねるといねいに応対してくれ、いろいろ話をまかせてもらえることができた。こちらもおちよくることなしに真面目に話をまいた。話をきかせてくれたのは、当日指揮にあたったYさんである。

——千成ホテルのような大火災は今まで金ヶ崎であつた火災のうちでは一番大きいんでしょね。

「そう、なんせハシゴ車六台、ポンプ車などが四九台、救急車が一四台という数やし、出動した隊員もよその署かしん七十三人、西成は四五人やからね。」

——通報があつて到着した時はどんな状態

てくれ」という声や、助けることができた時なんか拍手してくれたりね。ほかではこんなことはないですね。まあ今度の火事にけやないけど……」

労働者にも意見を聞いて希望

——今度の火事で何か特に感じたことはありますか。

「ハしはらく考えて、やっぱり労働者の側の責任もよう考えてほしいですなあ（このことはよう書いて下さりとのこと）。たとえば火災報知器に酔つてイタマラしたりするから管理人の人なんかもスイッチを切つておいたりするんですわ。こう、自分で自分の身を救ふことで、さかいな。」

——そろそろかもしれませんがねえ。もともどそういう設備が不十分で、ひどいとこなんか全然ないことがある。

「いや——。とにかく自分の部屋が区こうへんにあるかも知らない人がおるんですなあ。やっばり逃げ場所を知つてほしいですわ。」

でしたか？

「もう一階から四階までは火の海やつたね。まだ中に人がおるし、こらあかんいうことですぐ救助隊を編成し、ふつうのハシゴを窓にかけて、まず私んどこへ強調して」と海道出張所のもんで四人助けました。それからハシゴ車で助けられたのは二五人やつたけど、どりのこしがたて置やつたね。」

——どりのこし、こなんですのん？

「ハまずいことを言つたかなというような調で、いや、まだ中に人が残つてないかいということですわ。」

救助には拍手も起つた

——火事があつて多くの見物人が集まつてやりにくかつたんじゃないですか

「ほかの所の火事と違つて、「助けてやっ

◆ 逃げ場所いうても屋上ぐらいとちゃうまっか？ なんせあの金網やし、この人一晩中おきとけいうてんのやるか。

設備改善——ちゃんとさしこむ

ドヤ主はいつた

——ドヤ主の方が問題が多いと思うんですが、具体的にどういう指導をしてはるんでしょうか

「建築局と保健所と私んどこ三者が、昭和四四年頃から問題のあるところをチェックしておるんです。効果はあがつてますよ。しかし、なにせ西成区全域が対象ですよつてに、なかなかほかじらんでね。まあガンバつとります。毎週三〇人以上投入してますから。」

◆ 一丘に三〇人というのは、べさしようかと聞こうと思つたが、あまり自信ありげにいうからやめた。

この火事のあとモドヤ組合の役員さん全員

を招集しまして、ちゃんとするようにと言いましたから。」

「夜更の人はそれに答えてどう言いました？」

「はい、ちゃんとやりますいつてました。」
◆ あうあら、これぞええんやるか
「うちはやりまへん」いうアはがどこにある？」

「いんちきな」もん

——まあそれはそれとして、金ヶ崎はいろんな面で見通しに思ふんですけど、消防関係でもそんなことがあるんじゃないですか。

「「ちよっと不確信」どうに」そんなことありません。市内の出張所ではじめて救急車が置かれ、しかも海通出張所や、市内二六の救急隊のうち海通が出勤数から何までトップなんですよ。」

——それでもよその救急隊が全部新車で走っている時も海通だけは古い型でしたよ。
「いや、あれは、あの地域の」結構情のこ

どっちが本物？
事実と真実と……

出火のお詫び

本日(3月10日)出火によりいろいろと迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳なく、心からお詫び申し上げます。出火に際しては、消防に協力していただき、早くおれを申し上げます。

このたびの事故を肝に銘じて、他日の注意を怠りません。火災への処遇にあたっては、消防へのご協力をお願いいたします。今後とも、今後ともご協力をお願いいたします。すようお願ひ申し上げます。

3月10日 千成ホテル 主人敬白

出火のお詫び

本日(3月10日)出火によりいろいろと「一様」の悪影響を及ぼしてまいりました。誠に残念無念ですが、出火に際しては、消防の保護金を賜りました。保険会社の方々に早くおれを申し上げます。

このたびの事故を肝に銘じて、他日の注意を怠りません。火災への追求をかわして、いっ所存です。今後とも、今後ともご協力をお願いいたします。すようお願ひ申し上げます。

3月10日 千成ホテル 隣接各店 主人敬白

と、人々で橋本力着さんという方が寄付してくださったんです。『そんなこと聞いたら、どのとちやう』地域の人がそれほど、消防者のことを考えているんですから、もうちよっと消防者の皆さんもです。考えてもらって、酒を飲んで免刑退院になるようなことはやめてほしいですね。

◆ なんて話論がこんなところに落ちつくのかしら。この人まっ、といひめられたことがあるに違いない。いやね、あたくさんいろいろ言いたいところあるみたいやけど、私ちキリスト教やないけど、慈善をやつとるんです。

社説——消防者の責任

慈善をやつとるというのだけは賛成した。この人さん、村では文学青年で切り切りの雑誌を出していたというだけあって、なかなかおもしろい人だった。が、まわりの新聞になつたら、出るのがうまくなつて、こしやう。すべ

論は「消防者の責任」にすりかえようとするのである。そもそも直法建築がほとんどで、そのうえ防火設備が不十分。まだましな方の千成であつたの状態で、「消防者の責任」といわれてもどうしようもない。消防者の責任がこの通りだから、我々としてはどうすればよいか。ヒヤ組合が防火設備をちゃんとするまで待つわけにはいかんし……。

《なやにとまるときの心得》

その一、大きなだけ止田一族のヒヤはさけること(二度あることは三度ある)。

その二、ヒヤをさけるだけ二階以上の部屋はやめること。

その三、高い階の部屋しかあいてない時は、カッター(金網切断用)とロープ(避難用)を用意すること。

その四、右の三つの注意を守れない人は、青カンすること。

御用心御用心。